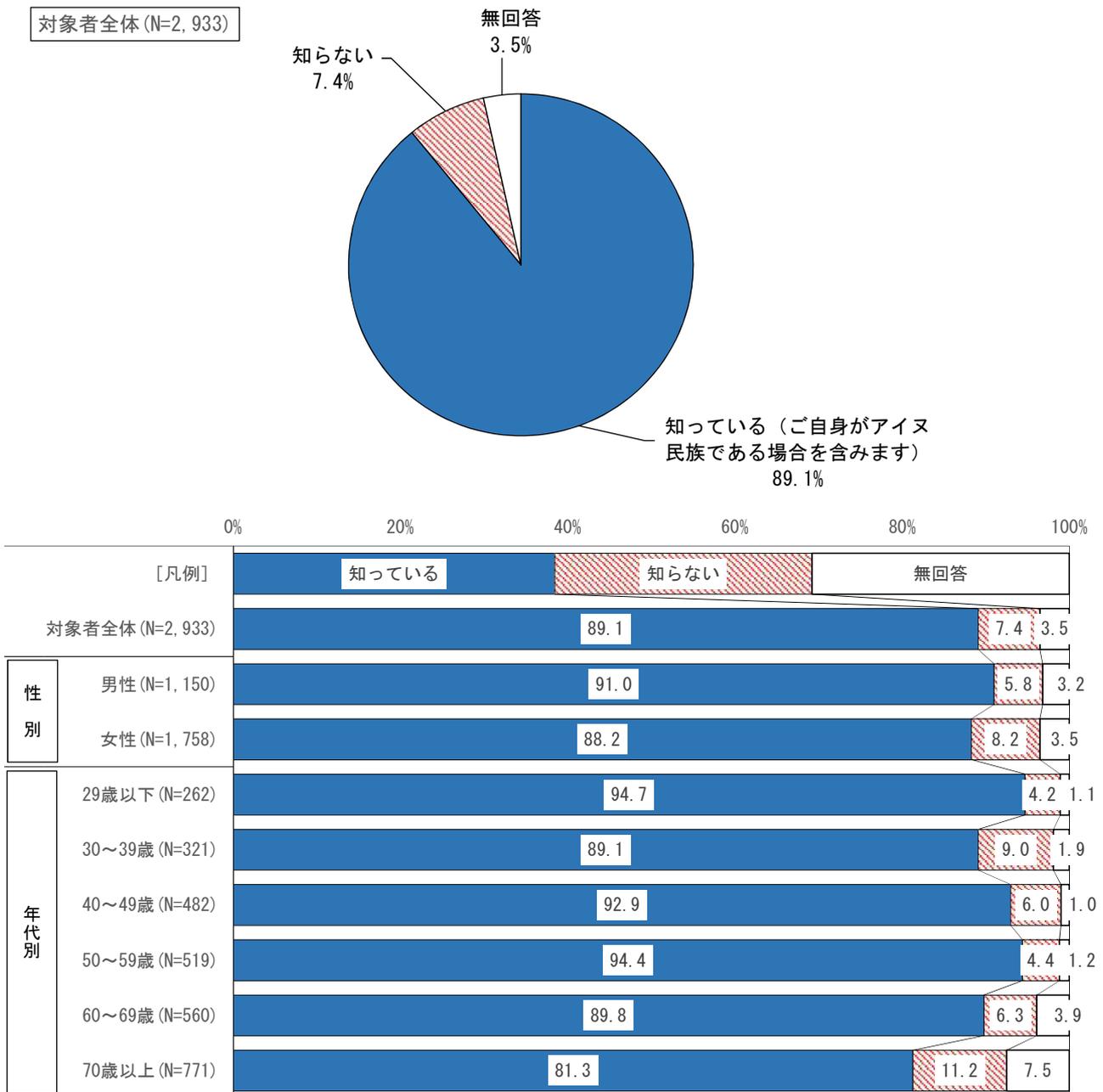


### (3) 札幌市のアイヌ施策について

#### ◇アイヌ民族の認知度

問 1 1 あなたは、アイヌ民族について知っていますか。

アイヌ民族について「知っている」人は 89.1%



【全 体】 アイヌ民族について、「知っている」が 89.1%、「知らない」が 7.4%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

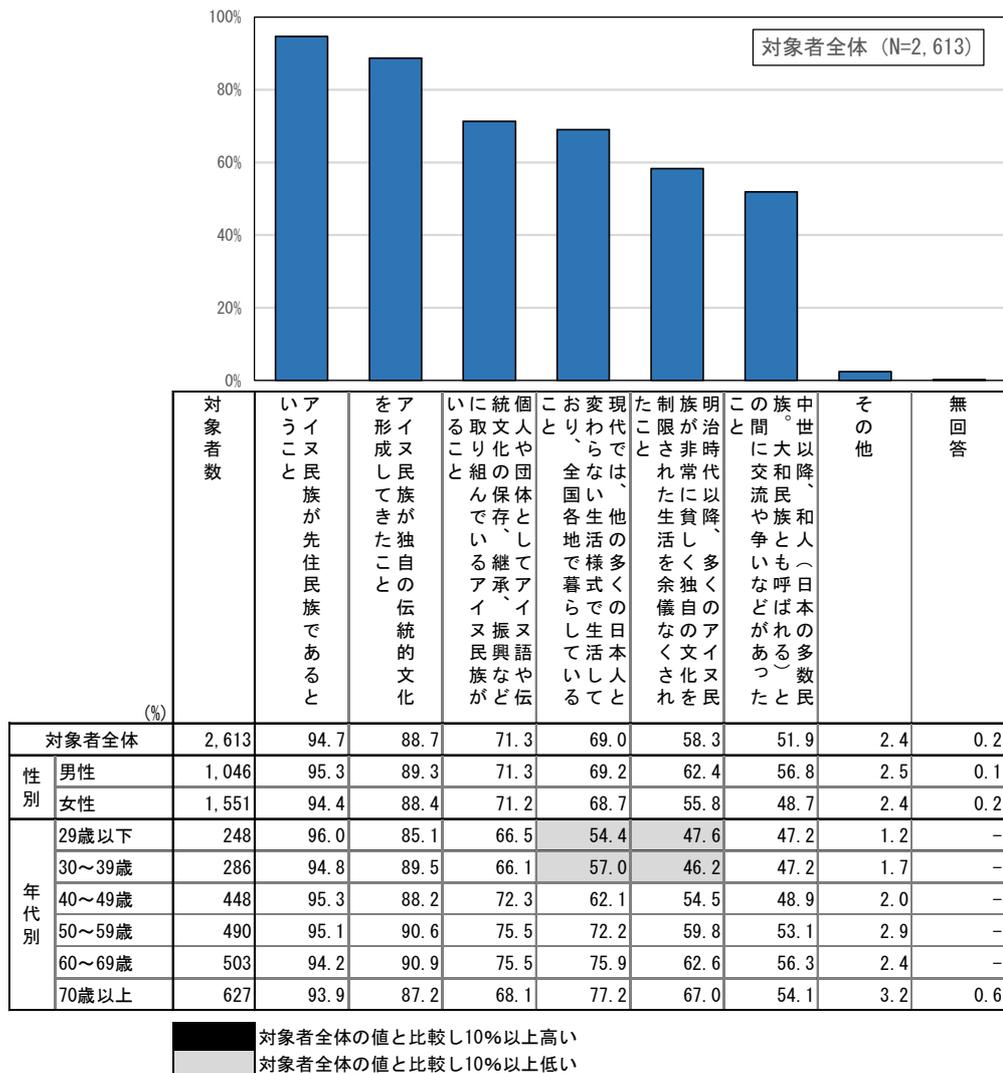
【年代別】 「知っている」は、29 歳以下(94.7%)で最も高く、最も低い 70 歳以上(81.3%)とは 13.4 ポイントの差となっている。

## ◇アイヌ民族について知っていること

《問11で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。》

問11-1 あなたは、アイヌ民族についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

**アイヌ民族について知っていることは「アイヌ民族が先住民族であるということ」が94.7%**



【全体】 アイヌ民族について知っていることは、「アイヌ民族が先住民族であるということ」が94.7%、「アイヌ民族が独自の伝統的文化を形成してきたこと」が88.7%、「個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保存、継承、振興などに取り組んでいるアイヌ民族がいること」が71.3%となっている。

【性別】 「明治時代以降、多くのアイヌ民族が非常に貧しく独自の文化を制限された生活を余儀なくされたこと」、「中世以降、和人と間に交流や争いなどがあつたこと」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。

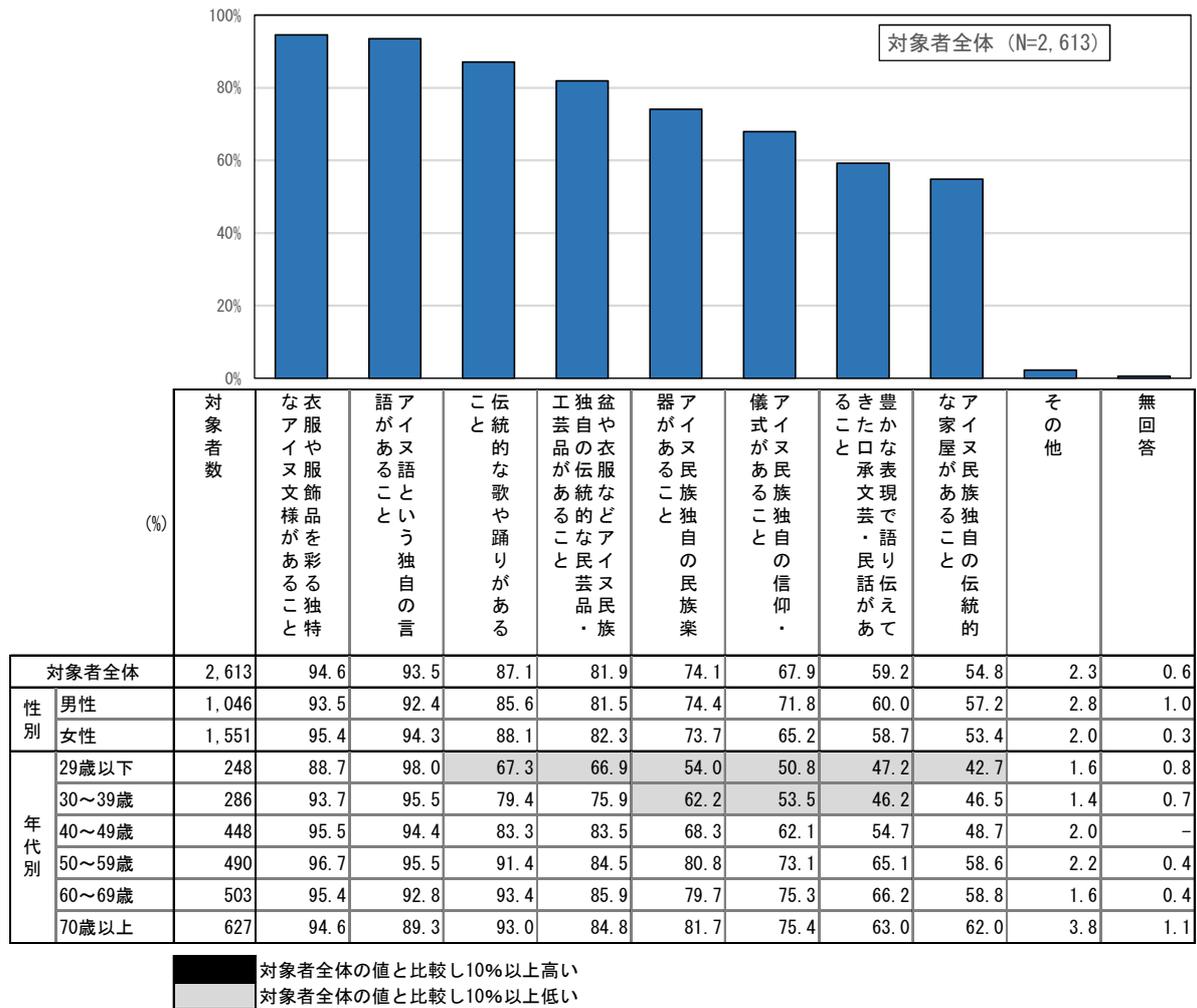
【年代別】 「現代では、他の多くの日本人と変わらない生活様式で生活しており、全国各地で暮らしていること」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

## ◇アイヌ文化について知っていること

《問11で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。》

**問11-2** あなたは、アイヌ文化についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

**アイヌ文化について知っていることは「衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること」が 94.6%**



【全体】 アイヌ文化について知っていることは、「衣服や服飾品を彩る独特なアイヌ文様があること」が 94.6%、「アイヌ語という独自の言語があること」が 93.5%、「伝統的な歌や踊りがあること」が 87.1%となっている。

【性別】 「アイヌ民族独自の信仰・儀式があること」は、男性で 71.8%と、女性の 65.2%より 6.6 ポイント高くなっている。

【年代別】 「伝統的な歌や踊りがあること」、「盆や衣服などアイヌ民族独自の伝統的な民芸品・工芸品があること」、「アイヌ民族独自の民族楽器があること」、「アイヌ民族独自の信仰・儀式があること」、「豊かな表現で語り伝えてきた口承文芸・民話があること」、「アイヌ民族独自の伝統的な家屋があること」は、29歳以下が、対象者全体と比べ 10.0 ポイント以上低くなっている。

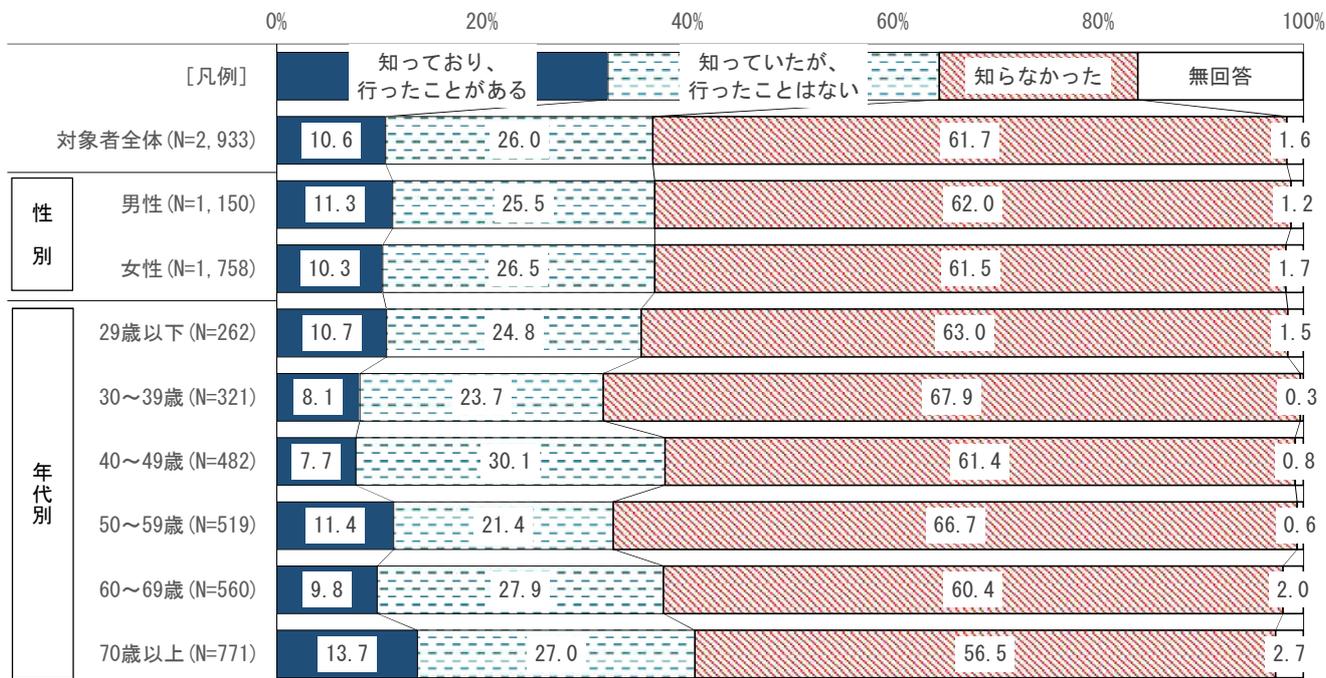
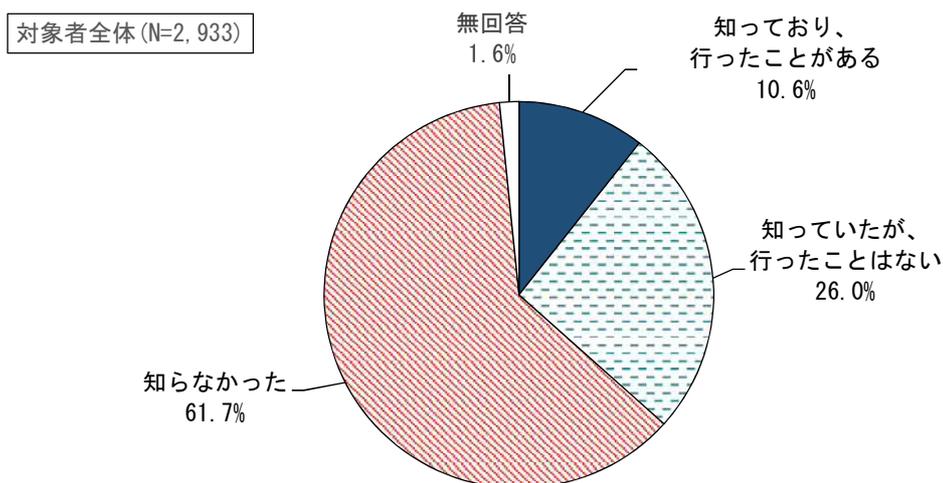
## ◇札幌市アイヌ文化交流センターの認知度

**問 1 2** 札幌市南区小金湯にある「札幌市アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）」についてお聞きします。

(1) あなたは、札幌市アイヌ文化交流センターを知っていましたか。1つだけ○をつけてください。

**札幌市アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）を“知っていた”人は36.7%**

※ “知っていた”（「知っており、行ったことがある」+「知っていたが、行ったことはない」）



【全 体】札幌市アイヌ文化交流センターを、「知っており、行ったことがある」が 10.6%、「知っていたが、行ったことはない」が 26.0%、合わせると 36.7%となっている。一方で、「知らなかった」が 61.7%となっている。

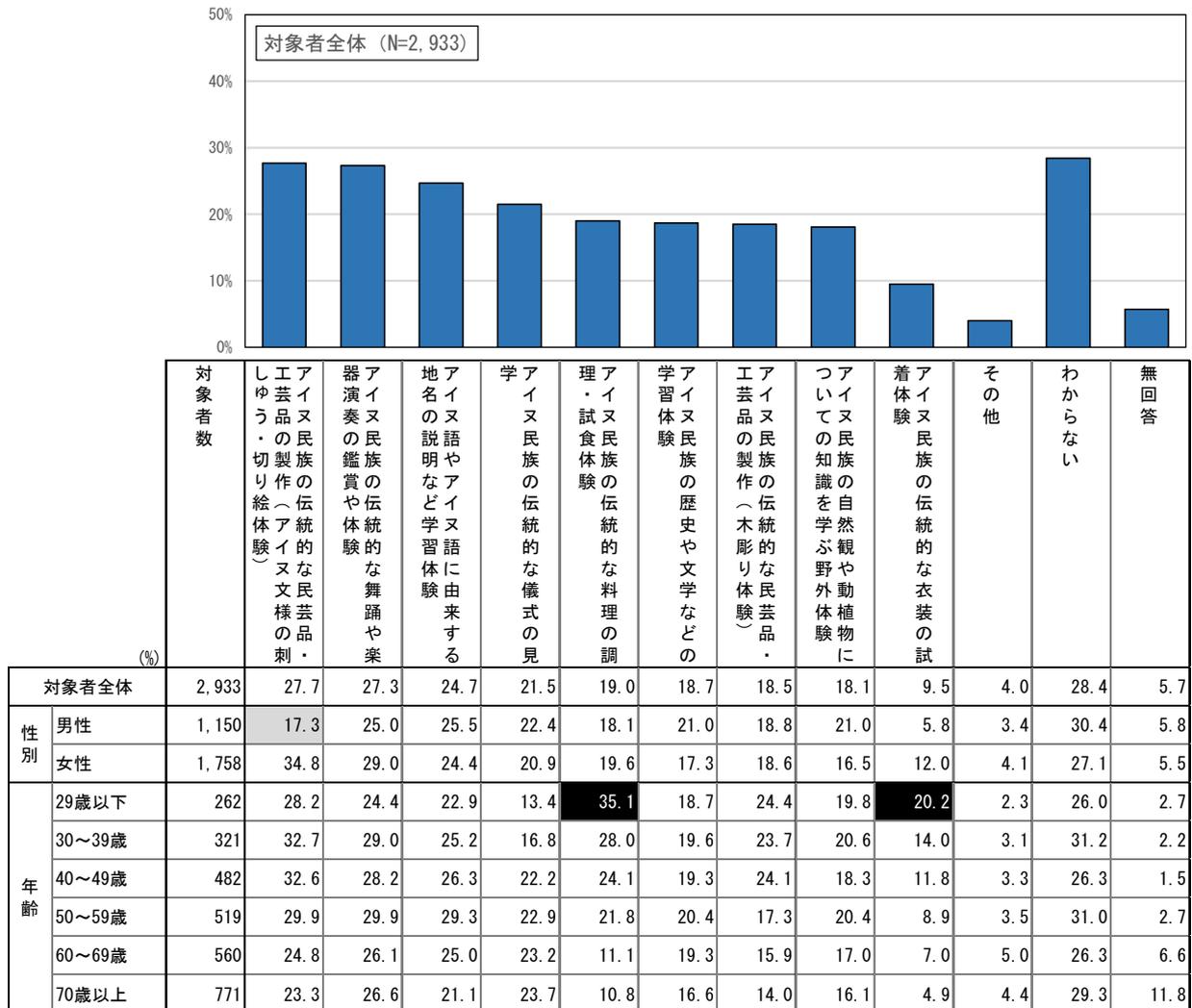
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“知っていた”は、70歳以上(40.7%)で最も高く、次いで40歳代(37.8%)、60歳代(37.7%)となっている。

◇札幌市アイヌ文化交流センターが行うイベントで参加したいと思うもの

**問 1 2** (2) あなたは、札幌市アイヌ文化交流センターにおいて、どのようなイベントなら参加してみたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌市アイヌ文化交流センターが行うイベントで参加してみたいものは「アイヌ民族の伝統的な民芸品・工芸品の製作（アイヌ文様の刺しゅう・切り絵体験）」が27.7%



■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い  
 ■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】札幌市アイヌ文化交流センターが行うイベントで参加してみたいものは、「アイヌ民族の伝統的な民芸品・工芸品の製作（アイヌ文様の刺しゅう・切り絵体験）」が27.7%、「アイヌ民族の伝統的な舞踊や楽器演奏の鑑賞や体験」が27.3%、「アイヌ語やアイヌ語に由来する地名の説明など学習体験」が24.7%となっている。

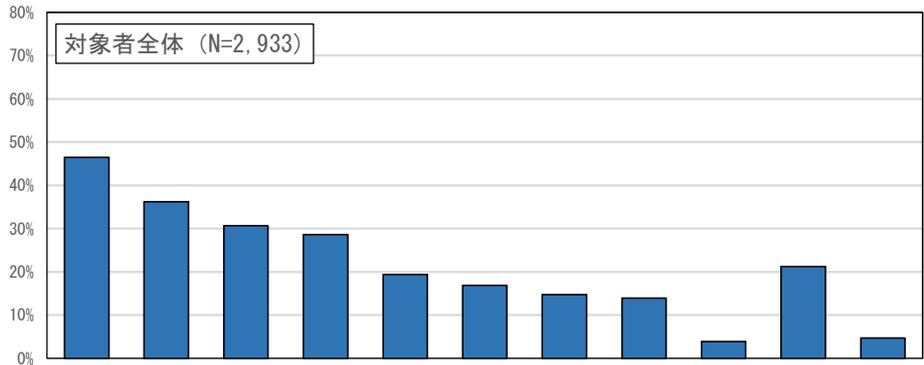
【性別】「アイヌ民族の伝統的な民芸品・工芸品の製作（アイヌ文様の刺しゅう・切り絵体験）」は女性で34.8%と、男性の17.3%より17.5ポイント高くなっている。また、「アイヌ民族の伝統的な衣装の試着体験」は女性で12.0%と、男性の5.8%より6.2ポイント高くなっている。

【年代別】「アイヌ民族の伝統的な料理の調理・試食体験」、「アイヌ民族の伝統的な衣装の試着体験」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇アイヌ民族施策のうち重点的に取り組むべきもの

問13 あなたは、アイヌ民族に関する施策のうち、どのような取り組みを重点的に行うべきだと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

アイヌ民族に関する施策のうち重点的に取り組むべきだと思うものは「アイヌ民族の歴史・文化の知識を深めるための学校教育」が46.5%



	対象者数	施策											
		校のアイヌ知識を深めるための歴史・文化	アイヌ民族の歴史・文化の知識を深めるための学校教育	アイヌ民族への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌ民芸品・工芸品のブランド化などの産業振興	アイヌ文化復興のための活動への支援	アイヌの歴史に関する研究の推進や大学などの研究機関の歴史や文化に関する研究の推進	アイヌ民族への職業訓練などの実践や雇用への確保など	アイヌ民族への教育の充実・支援	その他	わからない	無回答
対象者全体	2,933	46.5	36.2	30.7	28.6	19.4	16.9	14.7	13.9	3.9	21.2	4.7	
性別	男性	1,150	46.9	40.7	33.4	25.7	19.9	18.3	13.4	13.8	4.3	20.3	4.2
	女性	1,758	46.7	33.5	29.1	30.7	19.2	16.2	15.6	14.1	3.5	21.6	4.7
年代別	29歳以下	262	53.8	32.8	25.6	31.3	19.1	21.0	15.3	14.5	4.2	17.9	1.5
	30～39歳	321	46.7	31.5	22.7	29.0	16.8	17.4	13.7	13.7	3.7	23.1	2.5
	40～49歳	482	47.7	35.1	29.3	32.0	17.4	16.0	11.4	11.6	3.1	22.0	1.0
	50～59歳	519	49.1	36.6	32.9	32.0	20.4	17.9	14.1	13.3	4.8	19.8	2.3
	60～69歳	560	46.8	38.6	33.9	29.3	22.5	17.7	16.6	14.6	3.8	18.9	4.6
	70歳以上	771	42.0	38.3	32.9	23.1	19.2	14.8	16.2	15.3	3.6	23.3	10.1

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】 アイヌ民族に関する施策のうち重点的に取り組むべきだと思うものは、「アイヌ民族の歴史・文化の知識を深めるための学校教育」が46.5%、「アイヌ民族への理解を深めるための啓発・広報活動」が36.2%、「アイヌ文化継承のための人材育成」が30.7%となっている。

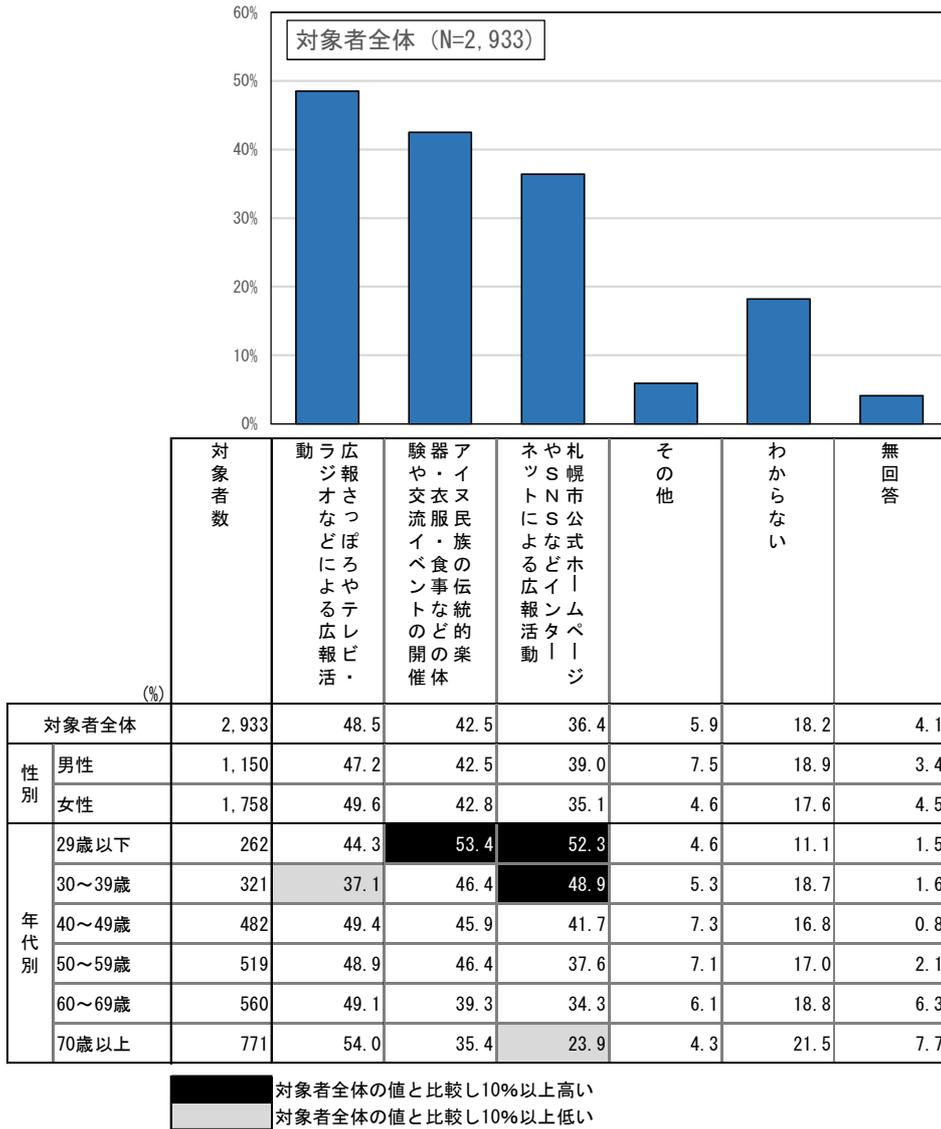
【性別】 「アイヌ民族への理解を深めるための啓発・広報活動」は、男性で40.7%と、女性の33.5%より7.2ポイント高くなっている。また、「アイヌ民芸品・工芸品のブランド化などの産業振興」は、女性で30.7%と、男性の25.7%より5.0ポイント高くなっている。

【年代別】 「アイヌ民族の歴史・文化の知識を深めるための学校教育」は、29歳以下(53.8%)で最も高く、次いで50歳代(49.1%)、40歳代(47.7%)となっている。

◇アイヌ民族の認知度向上のために重点的に取り組むべきもの

問14 あなたは、アイヌ民族について市民に知っていただくために、どのような取り組みを重点的に行うべきであると考えますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

**アイヌ民族の認知度向上のために重点的に取り組むべきだと考えるものは「広報さっぽろやテレビ・ラジオなどによる広報活動」が48.5%**



【全 体】 アイヌ民族の認知度向上のために重点的に取り組むべきだと考えるものは、「広報さっぽろやテレビ・ラジオなどによる広報活動」が 48.5%、「アイヌ民族の伝統的楽器・衣服・食事などの体験や交流イベントの開催」が42.5%、「札幌市公式ホームページやSNSなどインターネットによる広報活動」が36.4%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「札幌市公式ホームページやSNSなどインターネットによる広報活動」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。